



笛吹市 議会だより

平成25年4月22日発行

2013

Vol.34

GIKAI DAYORI



山梨岡神社の太々神楽

春の例大祭(4月4・5日)で
昼夜2日間にわたって太々神楽
が奉納された。「武田信玄出陣
の神楽」とも呼ばれ、武田軍が
戦勝祈願のために行われたと
いう。1967年に山梨県の無形
民俗文化財に指定された。





笛吹市

議会だより 2013 Vol.34

表紙 1

あんない・議会日誌・会期日程 2

倉嶋市長・施政方針 3

3月定例議会で決まったこと 4~7

会派代表質問(5会派) 8~15

 笛新会 笛政クラブ 誠和会 公明党 日本共産党

一般質問(8人) 16~19

 渡辺 清美議員 保坂 利定議員 神澤 敏美議員
 神宮司正人議員 大久保俊雄議員 亀山 和子議員
 志村 直毅議員 川村 恵子議員

視察・研修 20~21

委員会レポート 22~23

市民リレートーク / 編集コラム笛吹川 24

あんない CONTENTS



FUEFUKI CITY



議会日誌 GIKAI diary

12月 December

- 5日 東八代広域行政事務組合議会臨時会
- 7日 第4回定例会本会議(初日)
- 10日 第4回定例会本会議(一般質問)
- 11日 第4回定例会本会議(一般質問)
- 12日・14日 各常任委員会
- 19日 議会運営委員会、全員協議会
第4回定例会本会議(最終日)
- 25日 峡東地域広域水道企業団議会
3市代表者会議、釈迦堂遺跡博物館組合議会
- 26日 甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会臨時会
- 27日 議会広報編集委員会、議会改革検討委員会

1月 January

- 4日 仕事始め式、新春交歓会・受賞祝賀会
- 6日 消防団出初式
- 8日 総務常任委員会研修会
- 10日 議会広報編集委員会
- 11日 交通安全協会交通安全祈願祭
- 13日 市成人式
- 15日 3市(笛吹・北杜・南ア)合同議員研修会
- 16日 議会改革検討委員会
- 22日 全員協議会
- 23日 市議会「新春互礼会」
- 24日 千葉県一宮町町長・議長表敬訪問
- 27日 いさわ温泉の日記念イベント
- 28日 愛知県大府市議会会派行政視察研修来庁
- 30日 教育厚生常任委員会学校訪問研修
千葉県市議会議長会正副議長行政視察来庁
- 31日 観光情報紹介市長トップセールス同行

2月 February

- 1日 市長とものづくり企業・経済懇話会意見交換会
- 4日~5日 3常任委員会合同行政視察研修
- 7日 甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会臨時会
- 8日 教育厚生常任委員会社会福祉施設視察研修
- 10日 山身連市町村議会議員懇談会
- 12日 山梨県市議会議長会議員合同(後期)研修会
臨時全員協議会
- 13日 総務常任委員会所管事項研修会
- 14日 リニア対策特別委員会
- 15日 議会運営委員会、全員協議会
- 18日 峡東地域広域水道企業団議会全員協議会
- 19日 東山梨環境衛生組合議会定例会
- 20日 議会改革検討委員会
- 21日 東山梨行政事務組合議会定例会
- 22日 第1回定例会本会議(初日)

3月議会・会期日程

- 2月15日(金) ・ 議会運営委員会
・ 全員協議会
- 2月22日(金) 開会
- ・ 本会議・会議録署名議員の指名
・ 会期の決定・市長行政報告
・ 提出議案の説明
- ・ 総括質疑・付託
- 2月26日(火) ・ 代表質問
- 2月27日(水) ・ 一般質問
- 3月4日(月) ~ 12日(火) 各常任委員会
- ・ 付託案件・事件審査
- 3月8日(金) ・ 議会運営委員会
・ 全員協議会・本会議
- ・ 各委員会の審査報告
- ・ 質疑・討論・採決
- 3月19日(水) ・ 全員協議会
・ 本会議・各委員会の審査報告
- ・ 質疑・討論・採決
- 閉会



倉嶋市長の施政方針

開かれた市役所 公平公正で透明性の高い市政

市政運営の基本姿勢

情報公開を積極的に推進し、市民のだれもが知りたい情報を容易に得ることができ、市民の声が届く開かれた市役所を目指します。

市民に知らせたい情報はもちろん、知りたいであろう情報も、すべての市民に届くよう工夫します。

新たな取り組みを始める時には、幅広いくいろいろな人たちに集っていただき、率直な議論を交わし、市民合意の下で進めたいと考えております。

公平で公正な視点を欠かすことなく、市民の声が届く市政運営を目指してまいります。

5つの施策の柱

観光、農業を中心に地域経済を活性化し、にぎわいのまちをつくる

災害に強い安全・安心のまちづくり

安心して生きいきと暮らせ、住みたくなるまちづくり

文化を育みスポーツを楽しむ環境と魅力ある学校づくり

親しみやすく機能的な市役所と安定した行財政基盤づくり

大型施設整備事業の方針

多機能アリーナ建設事業

中止以外の選択肢はないと表明し、関係機関との協議や業務委託先との変更契約締結、委託金の支払いを完了させております。また、地権者を含む周辺の皆さまに対しても、昨年・今年の2回ご説明申し上げたところです。

砂原橋架け替えおよび周辺道路整備事業

橋脚6基のうち、笛吹川左岸の橋脚3基の下部工および上部工製作が完成し、残りの橋脚3基今湯水期に完成予定です。25年度は上部架設工を施工予定で、周辺道路整備については、用地買収と取り付け道路の工事に着手します。

石和温泉駅周辺整備事業

市の主要な交通拠点として、通学・通勤者・観光客などの利便性が向上し、石和温泉街の活性化にも寄与するものと捉えています。JR東日本との協議をしっかりと行い、工事施行協定を締結する予定です。

ふるさと公園拡張整備事業

全ての用地買収を終え、全体の9割以上のエリア造成工事等を進めています。今後は秋から冬にかけての観光資源として周辺の施設と連携し、県指定文化財である岡・銚子塚古墳の大きな魅力を積極的に活用していきたいと考えています。

バイオマスセンター建設事業

石和町砂原区、八代町増田区での意見交換会や「市民ミーティング」を行うてきました。協議・検討を行う検討組織を早急に立ち上げ、費用対効果等、他県の事例も参考に検討し、早い時期に方向性を示したいと考えています。

第一次笛吹市総合計画の主要事業

1 実り多い産業と人々の集うまちづくり

・ 笛吹市景観条例の制定

・ (仮称)笛吹スマートインターチェンジ周辺道路整備事業

・ 橋梁の長寿命化

・ 市営バス運行事業

・ 観光事業

・ 農業振興

・ 商工業の振興

2

環境にやさしく安心して健やかに暮らせるまちづくり

・ 災害対策事業

・ 本庁舎耐震改修事業

・ 交通安全対策事業

・ 消防救急無線デジタル化等整備事業

・ 消防施設整備管理事業

・ 水道事業

・ 上水道事業

・ ごみ減量化推進事業

・ 地球温暖化防止対策事業

・ 甲府峡東地域ごみ処理施設整備事業

・ 特定健診・特定保健

指導事業

・ 健康づくり

・ 子育て支援

・ 保育所運営事業

・ 高齢者福祉

・ 介護保険事業

・ 社会福祉

・ 障害者福祉

・ 国民健康保険適正運営事業

個性輝く人々が育ち活躍するまちづくり

・ 学校教育ビジョンの見直し

・ 教育施設の整備

・ 国民文化祭事業

・ 史跡整備事業

将来像実現に向けた取り組み

・ まちづくり推進事業

・ 住基カードの普及促進事業

・ 市税等徴収事業

3月定例議会における倉嶋市長の施政方針を要約したものです。

人事

人権擁護委員の推薦に芦澤氏を承認

芦澤憲一郎（63）八代町北

固定資産評価員に中村氏の選任を同意

中村 春樹（71）八代町北

黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会
委員に7氏の選任を同意

中川 吉清（74）御坂町夏目原

古屋 和敏（82）御坂町成田

堀内 好男（81）御坂町上黒駒

上野 稔（70）石和町四日市場

三浦 光宏（67）石和町八田

田中 征吉（70）一宮町市之蔵

野澤 俊雄（68）一宮町金田

（年齢は議決日となります）

渋川排水機の更新事業の実現を求める請願

【趣 旨】

笛吹市石和町富士見地域のほぼ中央を流れる渋川は、長年にわたり台風や大雨等による増水時には、流域に浸水・冠水の被害を与えてきましたが、先達の大変な労苦と渋川改修促進期成同盟の活動等により河川改修が進み、石和・富士見地域の排水環境は改善が図られつつあり、恒常的な内水問題の心配は低下しました。

しかし、渋川は、平等川の河床下を伏越潜函によつて濁川へ排水する構造となつており、その機能以上の流量があつた場合には、伏越呑口部南側に設置されているディーゼルエンジンの排水機を稼働させ、平等川に強制排水しています。

この排水機施設はすでに設置から半世紀が経過しており、現状で引き続き十分な機能を発揮していくことは困難となつてきており、渋川潜函呑口と濁川側の吐出口に水門が設置されており、濁川が増水し一定水位を超えた場合には水門が閉じられます。

昨今、地球温暖化などの気象変動による集中豪雨やゲリラ豪雨の発生が増加しており、渋川潜函による排水が不可能となることも想定されることから、渋川排水機による強制排水が十分な能力で行えるよう備えを万全に行う必要があると、このように笛吹川と平等川に挟まれた立地で、渋川伏越潜函以外の排水路がない現状は、潜函が閉じた場合の唯一の生命線は排水機施設のみという水防上の脆弱さも浮き彫りにするものであり、

昨今、地球温暖化などの気象変動による集中豪雨やゲリラ豪雨の発生が増加しており、渋川潜函による排水が不可能となることも想定されることから、渋川排水機による強制排水が十分な能力で行えるよう備えを万全に行う必要があると、このように笛吹川と平等川に挟まれた立地で、渋川伏越潜函以外の排水路がない現状は、潜函が閉じた場合の唯一の生命線は排水機施設のみという水防上の脆弱さも浮き彫りにするものであり、

み、住宅や社会資本、公共施設等が集積する石和・富士見地域の水防のみならず、防災上の観点からも早急な対策が必要です。近年、市民の生命・財産を守る公共施設の維持管理や更新は喫緊の課題であり、防災力強化のためにも「対症療法」から「予防保全」の対応へと変化が求められています。つきましては、渋川排水機の更新を求める本会ならびに多くの市民の要望を斟酌いただき、笛吹市として更新事業を実現していただけますよう、左記のとおりお願いいたします。

【請願事項】
一、笛吹市において、渋川排水機の更新のための事業を早期に実施すること。

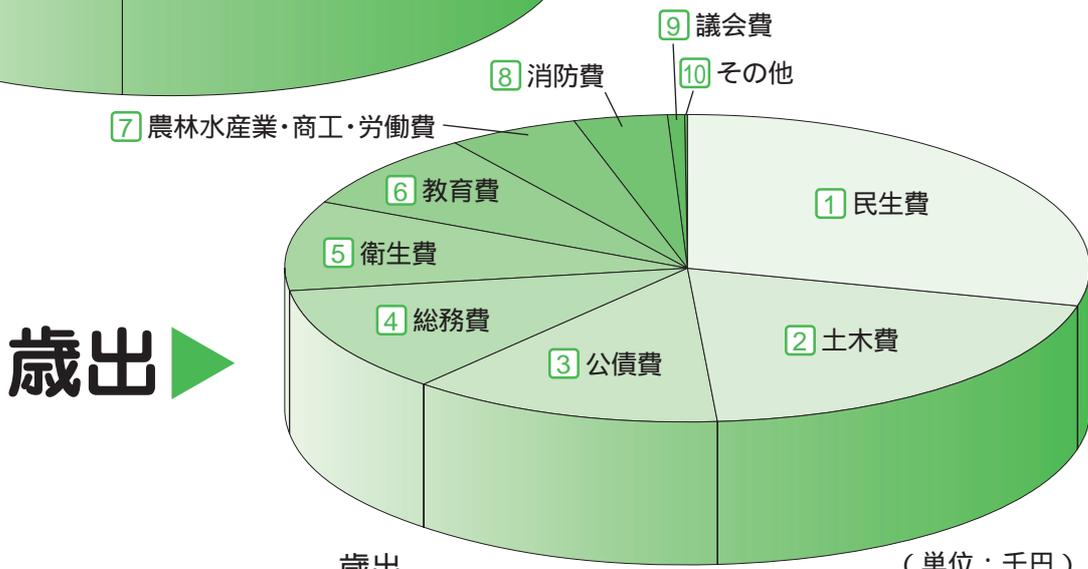
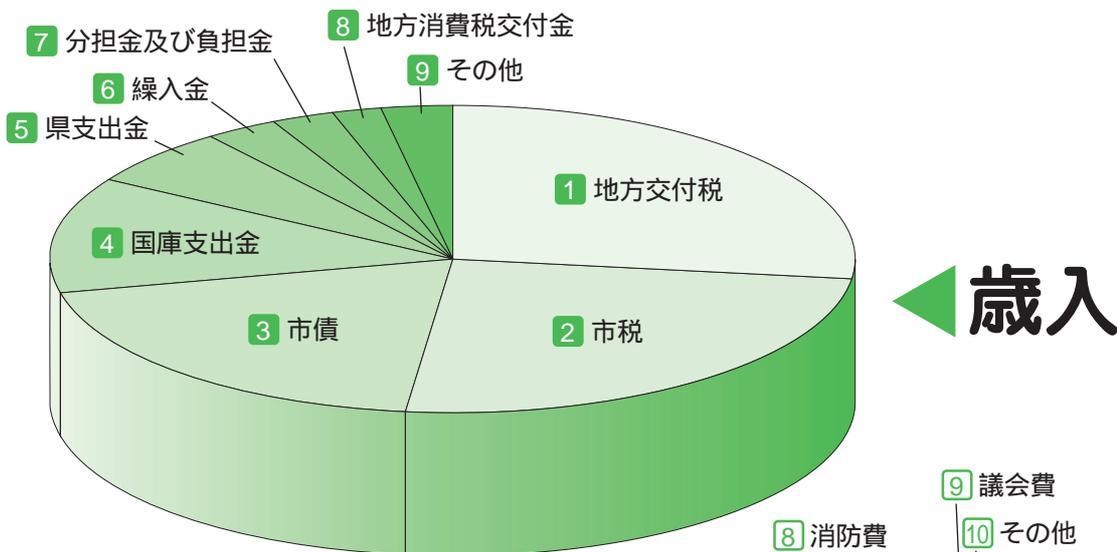
【請願提出者】
渋川の排水をよくする会

【請願提出者】
渋川の排水をよくする会

3月定例議会 25年度一般会計当初予算

対前年比 19億7,600万円増

341億3900万円を可決



歳入			歳出 (単位：千円)			
科目	金額	構成比	科目	金額	構成比	1人当たり
1 地方交付税	92億3,300万0	27.0%	1 民生費	98億7,956万9	28.9%	13万8
2 市税	84億7,951万0	24.8%	2 土木費	67億8,512万6	19.9%	9万5
3 市債	66億8,730万0	19.6%	3 公債費	42億8,987万7	12.6%	6万0
4 国庫支出金	41億6,017万0	12.2%	4 総務費	38億4,812万9	11.3%	5万4
5 県支出金	20億6,424万9	6.0%	5 衛生費	32億2,070万2	9.4%	4万5
6 繰入金	10億0,080万0	2.9%	6 教育費	27億6,463万1	8.1%	3万9
7 分担金及び負担金	8億6,084万3	2.5%	7 農林水産業・商工・労働費	17億9,550万0	5.3%	2万5
8 地方消費税交付金	6億7,300万0	2.0%	8 消防費	12億8,234万3	3.8%	1万8
9 その他	9億8,012万8	2.9%	9 議会費	2億3,372万8	0.7%	3
			10 その他	3,939万5	0.1%	1
計	341億3,900万0	100.0%	計	341億3,900万0	100.0%	47万6

注) 構成比は端数処理の関係で100%にならない場合もあります。 人口：71,724人〔外国人含〕平成25年4月1日現在)

3月定例議会 25年度当初予算 特別会計

注)構成比は端数処理の関係で100%にならない場合もあります。

国民健康保険特別会計

歳入	国民健康保険税	22億8,195万9	25.7%
	国庫支出金	22億1,210万3	26.5%
	前期高齢者交付金	14億7,446万9	17.1%
	共同事業交付金	11億1,290万7	12.9%
	その他	15億3,589万2	17.8%
	合計	86億1,733万0	100.00%

歳出	保険給付費	55億6,587万8	64.6%
	共同事業拠出金	11億0,772万2	12.9%
	後期高齢者支援金等	11億2,843万2	13.1%
	介護納付金	5億1,657万4	6.0%
	その他	2億9,872万4	3.5%
	合計	86億1,733万0	100.00%

介護保険特別会計

歳入	支払基金交付金	14億8,308万4	27.9%
	国庫支出金	12億4,731万0	23.5%
	介護保険料	10億1,409万2	19.1%
	繰入金	8億2,129万7	15.5%
	その他	7億4,708万1	14.1%
	合計	53億1,286万4	100.00%

歳出	保険給付費	50億6,199万4	95.3%
	総務費	1億3,677万9	2.6%
	地域支援事業費	1億1,278万8	2.1%
	その他	130万3	0.0%
	合計	53億1,286万4	100.00%

介護サービス特別会計

歳入	サービス収入	1,526万4	92.1%
	繰越金	130万0	7.8%
	諸収入	1	0.0%
	合計	1,656万5	100.00%

歳出	事業費	890万1	53.7%
	総務費	744万3	44.9%
	予備費	22万1	1.3%
	合計	1,656万5	100.00%

後期高齢者医療特別会計

歳入	繰入金	9億0,988万6	67.9%
	後期高齢者医療保険料	4億2,953万3	32.0%
	その他	126万5	0.1%
	合計	13億4,068万4	100.00%

歳出	広域連合納付金	13億2,144万2	98.6%
	総務費	1,768万9	1.3%
	その他	155万3	0.1%
	合計	13億4,068万4	100.00%

公共下水道特別会計

歳入	繰入金	17億7,487万7	56.5%
	市債	6億3,200万0	20.1%
	使用料及び手数料	5億3,651万2	17.1%
	その他	1億9,746万4	6.3%
	合計	31億4,085万3	100.00%

歳出	公債費	17億7,735万9	56.6%
	下水道事業費	11億8,194万9	37.6%
	総務費	1億7,654万5	5.6%
	予備費	500万0	0.2%
	合計	31億4,085万3	100.00%

農業集落排水特別会計

歳入	繰入金	3,900万0	82.7%
	使用料及び手数料	816万3	17.3%
	その他	3	0.0%
	合計	4,716万6	100.00%

歳出	公債費	2,974万0	63.1%
	農業集落排水事業費	1,727万6	36.6%
	総務費	15万0	0.3%
	合計	4,716万6	100.00%

簡易水道特別会計

歳入	繰入金	1,479万0	82.0%
	使用料及び手数料	324万3	18.0%
	その他	3	0.0%
	合計	1,803万6	100.00%

歳出	水道費	1,314万9	72.9%
	公債費	422万6	23.4%
	その他	66万1	3.7%
	合計	1,803万6	100.00%

水道事業会計（収益的収入）

歳入	営業収益	11億3,377万8	75.7%
	営業外収益	3億6,431万5	24.3%
	特別利益	1	0.0%
	合計	14億9,809万4	100.00%

水道事業会計（収益的支出）

歳出	営業費用	12億7,503万6	85.1%
	営業外費用	2億1,805万8	14.6%
	その他	500万0	0.3%
	合計	14億9,809万4	100.00%

水道事業会計（資本的収入）

歳入	企業債	13億3,790万0	47.6%
	出資金	10億8,190万2	38.5%
	国庫補助金	2億8,408万8	10.1%
	負担金	1億0,902万4	3.9%
	合計	28億1,291万4	100.00%

水道事業会計（資本的支出）

歳出	建設改良費	28億7,681万8	87.1%
	企業債償還金	4億2,528万2	12.9%
	収入不足額は、損益勘定留保資金、繰越利益剰余金で補てんする。		
合計	33億0,210万0	100.00%	

春日居地区温泉給湯事業会計（収益的収入）

歳入	営業収益	6,750万2	99.8%
	営業外収益	10万4	0.2%
	特別利益	1	0.0%
	合計	6,760万7	100.00%

春日居地区温泉給湯事業会計（資本的支出）

歳出	営業費用	6,490万7	96.0%
	営業外費用	200万0	3.0%
	その他	70万0	1.0%
	合計	6,760万7	100.00%

黒駒山外8財産区管理会特別会計

歳入 4,321万9

歳出 4,321万9

3月
定例議会

市民の声

代表質問

3月定例議会では、5会派を代表して5人の議員が代表質問に立ち、24項目について市当局の考えをたしました。

以下の記事は代表質問と答弁を要約したものです。

- 笛新会 北嶋恒男議員 ...8
- 笛政クラブ 上野 稔議員 ...9
- 誠和会 梶原 清議員...10
- 公明党 中川秀哉議員...12
- 日本共産党 渡辺正秀議員...13



笛新会

北嶋恒男 議員

問 市の財政状況は

北嶋恒男議員 25年度予算編成の重点施策は、合併特例債の活用状況と今後の計画は。

国の緊急経済対策事業による、本市の財政と経済効果は。事業の前倒しは。

答 事業の有効性を 見極め予算編成

倉嶋清次市長 大型建設事業を中心に、事業の有効性を見極め、必要不可欠な事業への重点配分を基本とした。多機能アリーナは建設中止し、バイオマスセンター建設を凍結する一方、砂原橋架け替え、石和温泉駅周辺整備等は市の基盤整備として引き続き進める。
本庁舎の耐震改修、災害危険地域への戸別受信機整備、公共施設・通学路の安全対策

問 ロタウイルス、おたふくかぜなどの予防接種への新規助成、子どもすこやか医療費助成の拡充、石和中学校改築やスコレーセンターの大規模改修、国民文化祭の開催費用等に重点配分した。

23年度末までに総額1、31億7、000万円を発行、24年度は61億6、000万円を発行の予定。25年度も49億4、000万円を予算計上している。26年度以降については、5年間の発行期間延長を踏まえ、現在策定中の後期基本計画に沿って事業を精選する。

交付限度額など詳細は未定有効活用を図り、活性化に繋げたい。前倒しは道路ストック点検など6事業、総額6億9、200万円。

問 八千蔵・高家用地への民活構想は

北嶋議員 災害廃棄物ストックヤード案は、水質など周辺環境への悪影響等が懸念される。地形を生かした畑総事業の整備・導入を提案する。市の農業振興の長期ビジョンとして実施すべきでは。

倉嶋市長 用地活用について知事に要望書を提出している。回答を踏まえ検討する。

北嶋議員 重度心身障害者医療費助成制度の窓口無料化の維持は。自動償還払いに変更された場合の市の負担は。

障害者基幹相談支援センターの設置は。
総合福祉会館整備の考えは。

答 総合的視点で 取り組む

倉嶋市長 窓口無料化が国保財政に与える影響に対

問 学校教育は

北嶋議員 障害のある児童生徒が普通学級で学べる環境整備の現状は。

体罰、いじめ撲滅への取り組みは。

信頼関係が最も大切

坂本誠二郎教育長 市内の小中学校における特別支援学級入級者は、22年度107人、23年度105人、24年度116人で推移している。普通学校に入学する場合、教室等のバリアフリー化、介助員の配置、理解

▶ を助ける教材の準備など、できる限り対応している。友達との交わりも大切なので、給食やそっじ、運動会や遠足等では同学年の児童生徒と一緒に行動している。

信頼関係の構築が最も大切。来年度、市の学校教育ビジョンの見直しが始まる。具体策を議論する。

問 国庫補助事業のチエック体制は

北嶋議員 教育委員会関係の事業で補助金の不正受給が判明した。

会計検査対象の国庫補助事業は、

チエック体制と強化方針は、

答 全事業の適正執行に努める

倉嶋市長 一般会計は33事業総額15億7,000万円、特別会計・企業会計は12億3,000万円を見込んでいる。甲斐国分寺跡等整備事業における不適切な事業執行を反省、調査委員会を設置した。国庫補助事業に限らず、すべての事務事業の適正執行に努める。

問 支所機能の充実と支所長権限は

北嶋議員 合併以来、支所機能は縮小してきた。支所長決裁、支所の予算枠を設ける考えは。

答 組織機構、事務事業の見直しを進める

倉嶋市長 支所に求められているものを見つめ直し、予算枠の必要性も含め検討する。

問 地区公民館・集会所の増改築を

北嶋議員 地域の要望に対応し、順次改善の必要がある。和式トイレは高齢者の不満が多い。

答 12行政区で助成金を活用

倉嶋市長 19年度から、建て替え、下水道接続の一部を助成対象としている。施設の改修は対象外だが、国や県の動向を見ながら検討したい。



笛政クラブ

上野 稔 議員

問 当初予算案編成と市政展開の方針は

上野稔議員 25年度予算で重点を置いた主要な施策・事業は。

総合計画の前期基本計画の検証と課題の分析結果は、25年度からの後期基本計画は、

合併特例債の発行期限延長に伴う手続きと、今後の活用方針は。

行財政改革の取り組みは、経済低迷の中、市民の声をどのように反映させるのか。

答 5つの重点施策に取り組み

倉嶋市長 多機能アリーナの建設中止、バイオマスセンター建設事業を凍結する一方、市の基盤整備として、砂原橋架け替え、石和温泉駅周辺整備等は引き続き進めていく。

庁舎の耐震改修、災害危

を発行するためには、現状の「新市建設計画」の修正が必要。策定中の後期計画に沿い、特例債を活用する事業を精選したい。

現在、第2次行財政改革大綱の検証を行っている。

効果的・効率的な事業執行と大胆な経費削減に取り組み、改革を断行する必要がある。

いただいたご意見・ご要望は十分検討する中、議会とも協議し、反映できるものは反映したい。

問 観光・農業・市内産業の振興施策は

上野議員 市内の産業、事業者への経営支援策は。

石和温泉の活性化など、地域経済の底上げを具現化する観光施策は。

交流人口の増加策は。

温泉、文化財、地域資源を活用した通年型の振興策は、新年度予算への反映は。

農業振興のビジョンは。

答 各種の活性化に取り組み

倉嶋市長 商工振興災害資金融資を利用した事業者

代表質問

に利子支払い相当額全額を補助する。融資を望む事業者には、小口資金融資を紹介し、一定の利子および保証金相当額の補助等を行うとともに融資の迅速化にも取り組む。

国民文化祭の夏ステージ事業として「笛吹川石和鵜飼」を長期に開催し誘客を図る。富士山の世界遺産登録を想定し、富士山とつなぐメニュー作りに取り組む。工夫を凝らしたPR活動や観光に特化した「ふえふき観光ナビ」の充実に努める。

市内に点在する文化財の研究ツアー、トレッキングなど四季を通じて滞在できるメニューを提供する。合宿やゼミの開催が容易にできる環境も整える。

経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に基づいた取り組みを行う。

問 合併特例債活用 of 大型事業は

上野議員 石和温泉駅周辺整備の進捗状況は。構内エスカレーターを設置は。整備後の市施設のランニングコストは。

パイオマスセンター凍結と砂原橋架け替え事業への影響は。

多機能アリーナ中止と文化・スポーツ振興への影響は。事後対応の現状は。

答 皆様の「ご意見を伺い 市民目線で検討

倉嶋市長 南北自由道路と駅舎の実設計は、3月末に完成予定。北口広場整備は、国道140号から石和第5保育所横までのアクセス道路工事が4月ころの完成予定。構内エスカレーターは、市が全ての費用を負担しない限り設置は難しい状況。維持費は年間2千万円と試算している。市民、地元の意見を参考に、

できるだけ早急に結論を出す。砂原橋事業と重複する地権者もあり、影響がでないよう配慮する。

代替施策は考えていない。文化・スポーツは市民目線で検討し、振興に努める。

中止決定後、権利者への説明会を2回開催した。今後ご理解を得られるよう努める。

問 高齢者・若年層・障害者施策は

上野議員 災害時要援護者支援登録事業の現状と課題は。

実効性のある訓練が必要だ。具体策は。

高齢者福祉に対する市長の所見は。

4月、中学3年生まで医療費助成を引き上げるが、財政面からは適正受診が求められる。

答 社会の変化に 対応し進める

倉嶋市長 1月25日現在564人が登録されている。未登録者が少なからずいることと、実効性あるシステムとして機能するかが課題だ。

活動の母体となる自主防災組織の強化、情報共有に努める。必要に応じて地域防災計画を見直す。

「いきいきプラン」に基づいた施策を着実に推進し、福祉や介護へのニーズの多様化を踏まえ、3年ごとの計画見直しで、急速に進む高齢化に対応したい。

窓口無料化による安易な受診が増えないよう啓発に努め、請求内容の分析、適正化に努める。

問 補助金事業への 対応は

上野議員 会計検査院から、甲斐国分寺跡整備事業に関する補助金の返還を求められた。市と教育委員会の対

応に問題はなかったか。今後の対応、方針は。

答 調査委員会を設置

坂本教育長 24年10月の検査で指摘され、1月22日県教委を通じ、国の判断と返還金が知らされた。内容精査後、議会に報告予定であったが、2月6日の新聞報道により急きよ記者会見を開いた。議会には2月12日の全員協議会で報告。調査委員会を設置、原因究明と再発防止策の検討を始めた。観光面でも重要な資源であり、整備を継続したい。今後は、誠意をもって文化庁、県教委と意思疎通を図り、本格的な整備に備える。



誠和会

梶原 清 議員

問 市長の施政方針を問う

梶原清議員 どのような施策と事業に、重点的な予算配分をしたのか。健全財政に向けた中長期



的な財政計画はいつ公表するののか。

▶ 昨年度までのマニフェストと同様に、25年度も主要事業の具体的内容、検証結果などを公表するののか。

▶ 第2次行財政改革の中の達成困難な項目と、第3次行財政改革の基本方針は。

▶ 行政経営システムや人事評価、月次予算・決算の継続と、新たなシステムの導入予定は。

▶ 合併時に策定された新市建設計画のうち、未実施の事業の今後の取り組みは。

必要不可欠な事業に重点配分

倉嶋市長 多機能アリーナの建設中止、バイオマスセンター建設事業を凍結する一方、市の基盤整備として砂原橋架け替え、石和温泉駅周辺整備等は引き続き進めていく。

▶ 本庁舎の耐震改修、災害危険地域への防災行政無線の戸別受信機整備等に取り組む。笹子トンネル事故を教訓に、公共施設・通学路の安全対策に重点的に措置

した。

▶ 他市に先駆け、ロタウイルス、おたふくかぜ、水ぼうそうの予防接種に助成する子どもすこやか医療費助成を中学生まで拡大する。

▶ 石和中学校改築やスコレ―センターの改修、国民文化祭等の文化・教育事業にも重点配分した。

▶ 長期財政計画の再検討が選挙公約。合併特例債の5年延長に対応した活用方法の検討、大幅な施策方針の変更等により中長期財政計画策定には例年以上の時間を要する。早急に公表する。

▶ マニフェストは作成せず、予算案の概要を配付した。事業内容や数値目標、達成状況については、評価の完了後、ホームページで公開の予定。

▶ 改革目標33項目のうち、23年度末時点で、達成困難は「都市計画税の課税区域の見直し」の1項目。第3次行財政改革大綱策定の基本方針は、現計画の検証を進める中で検討する。

▶ 行政評価システムの導入は、予算編成や行政運営の効率

化に果たす役割が大きい。人事評価や予算の執行状況管理についても引き続き取り組む。

▶ 第1次総合計画に引き継がれた未実施事業は、財政状況等の環境の変化を踏まえ検討する。

市長公約の地域活性化総合特区とは

梶原議員 構造改革特区と地域活性化特区との違いは、地域活性化の具体的な事業の想定は。

▶ 特区取り組みのスケジュールは。

▶ 3月以降の申請は当面受理しないとの内閣府の方針の対応は。

検討会を立ち上げる

倉嶋市長 規制の特例措置に加え、地域活性化特区は税制上、財政上など多くの支援を受けられる。

▶ 8月の地域再生法の改正、11月の地域再生基本方針一部変更により、地域再生制度も税制・財政・金融の支援が受けられるよ

うになった。構造改革特区制度の併用で同様の効果が期待できる。検討会を立ち上げ具体化したい。

バイオマスセンター建設は

梶原議員 凍結が公約だが、建設の見通しは。

▶ 建設場所は従来の計画と同じなのか。

▶ 想定する建設規模は。バイオマスタウン構想に基づき、3事業は実施するのか。

▶ ごみ減量アクションプランの目標値53%の達成見込みは。

早期に方向性を示したい

倉嶋市長 検討組織を早急に立ち上げ、建設場所、施設規模、バイオマスタウン構想に基づく3事業の実施について、方向性を示したい。

▶ 23年度は、基準年の16年度対比約28%減。組成割合の高い生ごみの処理対策など尚一層の発生抑制と分別資源化を促進し目標達成に

努めたい。

観光振興アクションプランの進捗は

梶原議員 アクションプラン推進会議での、各部署の取り組み状況は。

▶ 新たに計画した、着地型旅行プランの内容は。

▶ 東日本大震災以降の、数値目標の達成状況および計画目標値の見直しの予定は。

▶ 石和・春日居温泉の活性化の具体的取り組みは。

25年度末に中間評価し見直しの議論

倉嶋市長 推進会議は、アクションプランが実際に機能しているか確認するため、昨年3月に産学官合同で組織し設立した。34事業のうち、85%の着手を確認。24年度のチェックもまもなく実施。25年末の中間評価で見直し等を検討する。

▶ 1泊2日を基本に「花めぐり・紅葉」「農業・フルーツ狩り体験」「お祭り・イベント」「歴史」「ウオーキング・ハイキング」「健康・癒やし」等をテーマに70プランを提案

代表質問

している。

中間年の25年度に見直しを予定している。23年度は入り込み数が12%、宿泊数は10%減で、目標の前年対比1%アップは震災の影響も大きく実現できなかった。「ふえふき観光ナビ」へのアクセス数は飛躍的に増加している。

今年度開催の国民文化祭を絶好の機会と捉え、誘客を図りたい。

問 社会福祉法に基づく
県からの権限移譲は

梶原議員 対象の社会福祉法人数は。

業務の具体的な内容は。これ以外の福祉施設で類
似の業務があるのか。
専門知識をもった職員の養成等の体制整備は。

答 受け入れ体制を
整える

倉嶋市長 県の情報提供
によれば19法人。

社会福祉法人の許認可、指導監査、改善命令などの行政処分に関する事務が移譲される。市が毎年指導監

査する必要のある保育所が10法人、それ以外の9法人は隔年実施が原則。

障害福祉では県の障害者
幸住条例の委任事務としての建物検査、適合証の交付等
介護保険では地域密着型サ
ービス事業者の指定、実地
検査等。また認可外保育施
設の立ち入り調査・指導監
査等がある。

指導監査は管理、経理部
門に分かれ2人体制の実施
が望ましい。法人会計、法令
定款などに精通した職員を
確保したい。

問 障害者福祉施策は

梶原議員 障害者手帳所
持者の現状と推移は。

県からの権限移譲による
新たな業務は。
体制整備は。

障害者優先調達推進法へ
の対応は。

答 法改正、権限移譲
等に対応

倉嶋市長 身体障害者手
帳3、607人、療育手帳
433人、精神障害者保健
福祉手帳462人で、増加

となっている。

24年度から25年度にかけ
障害児の通所サービス 身体・
知的障害者相談員委嘱、障
害児に対する育成医療、障
害者虐待防止法への対応等
が移管される。

現在、職員7人、手話通



公明党

中川秀哉 議員

問 市長の市政運営方針
予算執行事業は

中川秀哉議員 昨年の衆議
院選挙で政権が交代、再び
自公政権が成立した。この間、
矢継ぎ早に経済対策が進んだ。
笛吹市においても新市長の
もと、さらなる事務事業の
見直しや行財政改革が積極
的に推進されたと思われる。
厳しい財政状況下、市長
の市政運営方針について伺う。
公明党として、安全・安
心対策、子育て・福祉政策
教育政策、環境と基幹産業

訳士1人体制。今後は法改
正や権限移譲で増加する業
務と、相談支援の質の確保
にも対応できる体制を整える。
各事業所の特性に合わせ
関係課と協議する中で、発
注の促進を図る。

政策、若者支援策、中小企
業支援策など、21政策を提
案し予算要望した。措置状
況は。

中小企業・小規模事業者
の資金繰り支援および、L
ED街路灯等導入促進事業
への予算措置は。

大型施設整備事業および
公共施設の屋根貸し事業へ
の予算措置は。

答 開かれた透明性の
高い市政を目指す

倉嶋市長 市政運営の基
本姿勢は「開かれた市役所
公平公正で透明性の高い市政」
だ。情報公開を積極的に推
し進める。わたし自身も積
極的に発信していく。大き
なくくりの「市民ミートイ
ング」ではなく、きめ細かく
各種の団体の方々と膝を交
えて談義したい。

公明党の各政策提言につ
いては、担当部局において
慎重に検討および審議を行
った。施策別枠配分方式の
限られた財源の中で、中学
3年生までの医療費の無料化
おたふくかぜ、水ぼうそう
等の予防接種への助成の追
加など、実現した事業もある。
提言の中には市独自で解決
できない項目も多い。貴重
な提言であり、今後、国や
県に働きかけ実現に取り組
んでいく。

中小企業・小規模事業者
の資金繰り支援事業は、国
から日本政策金融公庫なら
びに金融機関を通して行う
ものであり、自治体は直接



関与しない。

LED街路灯等導入促進事業は、市として要望する段階に至っていないと判断し、予算化を見送った。

多機能アリーナ建設は中止し、バイオマスセンター建設事業は凍結した。砂原橋架け替え工事、石和温泉

.....



日本共産党

渡辺正秀 議員

問 憲法・地方自治・安全を守る決意は

渡辺正秀議員 安部内閣は国粹主義の憲法改悪を進めようとしている。経済再生を打ち出しているが、ひつ迫する庶民の生活を守る施策は皆無に等しく、それどころか年金引き下げ、生活保護基準の引き下げ、消費増税等、所得を引き下げ負担を増やすばかりだ。

市長の憲法、地方自治、市民の生活を守る決意と、脱原発首長会議への参加の意思を伺う。

駅周辺整備事業および八代ふるさと公園整備事業は、市の基盤整備として、必要性があると判断し早期の完了を目指している。

公共施設の屋根貸し事業については、施設の管理面などの課題がある。引き続き検討したい。

.....

答 地方自治に憲法の精神を生かす

倉嶋市長 憲法は、恒久平和、基本的人権の尊重、国民主権生存権の保障、地方自治など今日においても世界に冠たる進んだ内容を有するものであり、改正する必要はないと考えている。地方自治の現場でもその精神は生かされるべきと考える。憲法を守り、市民の命と暮らしを守ることを肝に銘じて市

の舵取りを行う。

原発については、放射性廃棄物の処理方法が確立していない現在、否定的な考え方だ。首長会議への参加は前向きに検討する。

問 税滞納者への福祉サービス制限の見直しを

渡辺議員 地方税滞納者には市営住宅の入居資格がないとする条項を削除する考えは。他にも類似の制度、扱いはあるのか。

答 困窮者には配慮する

倉嶋市長 公営住宅の建設と運営は、国の補助および入居者の家賃と税金が財源住宅を公平かつ効果的に活用するために条項を加えた。ただし、払いたくても払えない困窮者のため、運用には十分な配慮をする。

税の滞納者を一律に対象外にする福祉施策はないが、介護保険料の未納者は未納期間に応じて、サービス利用の自己負担が通常1割から3割になるなどのペナルティーがある。

問 財政見直しと施策の検討を

渡辺議員 合併市町村の財政は激動する。財政指標はあまり役に立たず、実質公債費比率が優良でも、資金ショート、破たんもあり得る。長期の財政予測と施策の検討が必要だ。

答 長期財政計画を策定し、議論する

倉嶋市長 長期の財政シミュレーションは、健全財政を目指す上で欠かすことができない。27年度から交付税は段階的に大幅減少する。中期財政計画は6月議会で説明したい。長期財政計画は25年度中に検討、策定し、財政健全化について議論したい。

問 総合特区構想は

渡辺議員 総合特区とは何か。農業や観光での意欲的な取り組みにつながるのか。分りやすく示してほしい。

答 活用を考えたい

倉嶋市長 総合特別区域法に位置付けられている。実

現性の高い先駆的な地域の取り組みに対し、支援措置する制度。豊富な資源を活用した魅力あふれるまちづくりには有効だと考える

問 教育諸問題への対処は

渡辺議員 全国的に、いじめ、不登校、体罰、教師の不祥事が問題となっている。教育委員会の基本方針は。

答 人権に配慮、起きる前に積極的対応

坂本教育長 いじめ、体罰不祥事については、事実確認の上で、法令に基づき厳正に対処する。事案が起きるからの対症療法でなく、積極的な取り組みが大切だ。いじめや不登校については、子どもが自己肯定感を持つよう工夫した授業や活動を展開している。24年5月と10月に教員の起こした体罰事案では、当該教師と校長を処分した。数年前の教師の不祥事では、長期間スクールカウンセラーを配置し、被害者の人権や将来を最優先に考え対応した。

代表質問

3月
定例議会

市民の声

一般質問

3月定例議会では、8人の議員が一般質問に立ち、市の考えをたどしました。
以下は質問と答弁を要約したものです。



一般質問

問 学校施設の老朽化対策は

答 財政状況を見て効率的に進める



渡辺清美議員
(公明党)

渡辺清美議員 公共施設の4割を占める学校施設の老朽化が深刻な問題となっているが、耐震化が進んできた中、教育環境の向上や地域防災拠点としての安全性を高めるため、老朽化対策の積極的な取り組みが必要だ。市の考えを伺う。

仲澤和朗教育部長 学校施設は子どもたちの学習・生活の場であり、地域コミュニケーションや防災の拠点。安全・機能面からも耐震化が終了した時点で、老朽化対策に取り組む必要がある。今後取り組むべき重要な課題であり、厳しい財政状況の中、より効率性を考慮し進めていきたい。

問 防災・減災計画を問う

渡辺議員 橋梁、河川施設、上下水道や道路等、将来の状態を予測して

計画的・効率的に整備・管理する手法や、市の社会資本のアセットマネジメントについて伺う。

答 30年度までに
修繕完成を目指す

齊藤寿建設部長 橋梁点検は、24年度「笛吹市道橋梁長寿命化修繕計画」で、市道の等級、緊急輸送道路、損傷の進行等の要因を考慮し、点検する計画で、第2次緊急輸送道路と合わせた10橋について25年度から実施設計を行い、30年度までに修繕の完成を目指している。河川施設は防災面からの要望等を含め、検討していく。上水道のダクトイル鑄鉄管の敷設は順次行っており、配水管耐震化率は約1・04%。

アセットマネジメントについては、国の第一次補正の補助事業を取り入れ、道路ストック総点検を25年度に行い、修繕計画を策定していく予定。

問 甲斐国分寺・国分尼寺跡整備事業は

答 事務の適正執行に努める



保坂利定議員
(笛新会)

保坂利定議員 24年10月の文部科学省会計検査と、11月の文化庁調査で、不適切な事務執行による補助金の不正受給が判明し、国・県補助金と加算金を返還するが、その内容と今後の対応は。

国文祭・文化財めぐりの取り組み状況は。

仲澤教育部長 補助事業経費総額は4億4、700万円で、国・県から約3億9、800万円の補助を受け、うち1億7、000万円の返還を求められた。調査委員会を設置し、原因究明と再発防止に取り組み、適正執行に努めていきたい。

市独自に5つの事業を開催、甲斐国分寺跡の史跡東側に、説明板とガイダンス施設を設置。文芸俳句大会時には、国分寺跡をコースに組み入れ準備を進めている。

問 「やまゆりの湯」開館日改正を

答 管理者と協議し期待に応える



神澤敏美議員
(笛新会)

神澤敏美議員 春日居福祉会館やまゆりの湯」の定休日を、毎週火曜日に改正する考えはないか。

年末年始休館日を、12月30日から1月2日までに改正する考えは。

荻原明人保健福祉部長 やまゆりの湯利用料は市民250円、75歳以上や障がい者、中学生以下は無料で、23年度の利用者は4万人を超える。合併時の施設での設置経過を考慮、運営形態を継承してきたが、温泉施設としてはなく、福祉センターとして管理運営上の課題など、指定管理者と協議し期待に応えていきたい。

問 太陽光発電装置設置
推進を

神澤議員 太陽光発電設置で、地域活性化を図る考えはないか。

地産地消エネルギーで次世代に安全安心を。
発電事業企業の誘致促進を図る考えは。

耕作放棄地、遊休農地、西山山林地帯、公共施設の有効活用を。

答 地域活性化の貢献に
期待する

河野修市民環境部長 小中学校や庁舎等の公共24施設に、太陽光発電システムを設置しており、住宅用の設置にも補助制度を設け、普及・拡大に取り組んでいる。住宅や事業所への導入拡大も見込まれ、地域産業や地域経済に結びつくなど、地域活性化への貢献が期待されている。

市民や事業者にも呼びかけ、次世代の安全・安心な生活基盤を整えていきたい。

発電事業者への条件整備等を協議し、検討する。

農地転用等の許可が必要だが、有効活用するため十分に検討・協議していきたい。

問 公共施設・インフラの維持管理は

答 統廃合等、再配置計画を検討



神宮司正人議員
(笛新会)

神宮司正人議員 老朽化するインフラについて、財政的知見から市内公共施設やインフラの維持管理をどうしていくのか。市の財政や社会情勢に基づき、その取り組みと対応について伺う。

山下総務部長 公共施設の老朽化対応は、施設管理の所管課が維持管理、耐震補強改修、電気機械設備修繕等を行い、他の公共施設は老朽化率、将来維持管理費用や建て替え費用を推計し、財政状況・施設需給バランスと併せ課題の抽出をしている。今後、厳しくなる財政状況を踏まえ、改修・修繕、取り壊し、統廃合等の再配置計画を検討。

橋梁は笛吹市道橋梁長寿命化基本計画および修繕計画に基づき、補強・補修を進め、道路等も舗装路面、法面擁壁等の総点検を行い、修繕計画

を策定する。上水道は水道ビジョン、下水道は公共下水道財政健全化計画に基づき、効率的かつ効果的な管理運営に努めていく。

問 市職員の接客・規律、モラルハザードは

神宮司議員 市職員の一部に、市民への対応に不満が寄せられる事案があった。市長・管理担当者の考えを伺う。

答 市民の信頼と期待に
応えたい

山下総務部長 市職員は全体の奉仕者として住民福祉向上のために働いており、市民の期待に応えるために市民の視点に立ち、行政サービスの質の向上に努めている。笛吹市職員倫理綱領や職員行動規範などの周知徹底に努め、職員接遇マニュアルに基づく対応に心掛け、市民の期待と信頼に応えていきたい。

問 市民ミーティングの成果と課題は

答 大型建設事業について一定の理解



大久保俊雄議員
(笛政クラブ)

大久保俊雄議員 大型事業の凍結から、継続・縮小と変更された事業は、市民に理解されたのか。

パイオマスや駅舎周辺整備、アリオナ事業建設以外にも、代替地・接続道路や具体的スケジュール等、地権者・地元・市民への説明と要望の反映が必要だが、市の考えは。今後、市民ミーティングの開催頻度、具体的手法は。

風間和仁経営政策部長 大型建設事業の現状と考え方を説明し、一定の理解はいただいたと考えている。

中途での中止や計画変更等は、権利者や多くの関係者にご迷惑をお掛けする。適時、詳細な説明をし、理解を賜るようお願いしていく。

対象限定型と公募型の2つがあり、参加人数は10人以上50人以下としている。今後は公募型を中心に開催し

ていきたい。

問 市民が求めるより期待される職員像とは

大久保議員 市職員は業務上・業務外も高い行動規範が求められる。再発防止・信頼回復・確保の具体策は。

人材育成・各種研修の具体策と、効果・検証は。

答 管理・監督・指導強化
に努める

山下総務部長 市職員倫理綱領、職員行動規範などを繰り返し再確認し、管理職員による部下職員に対する日常の管理・監督・指導強化に努めていく。

自治体職員として使命と責任を自覚するなど、5つの職員像を掲げている。市町村職員研修所が実施する職務階層別の研修や各種専門研修、市町村アカデミーへの積極的な参加、専門性や公務能率の向上に効果が上がるものと考えている。

問 新年度予算で低所得者対策は十分か

答 関係部署と連携し要綱を改正



亀山和子議員
(日本共産党)

亀山和子議員 低所得者・貧困者
対策の特徴は。

国は生活保護・扶助費削減を打ち
出しているが、市で影響を受ける制
度の内容・規模は。

影響を最小限にするための策は。
生活保護法令外援助金の活用策、
認定具体策は。

荻萩原保健福祉部長 介護保険料
基準額を負担能力に応じて設定、個
人負担の軽減を実施していく。

生活保護費の基準が下がれば、就
学援助は対象から外れる世帯もある。
保育料の免除や軽減、介護サービス
利用者負担金や介護保険料の軽減、
学童保育料などに影響が出ると思わ
れる。

生活扶助費の改正内容が判明次第、
関係部署と連携・対応し、要綱の改
正など検討する。

問 公共施設から考えるガバナンスは

答 将来像やまちづくりを議論する



志村直毅議員
(笹政クラブ)

志村直毅議員 公の施設の管理運
営方針と、市の将来の方向性を検討
する認識を持つているか。

公の施設のあり方と運営方針は。
公民館をコミュニケーションの拠点と
して取り組む具体的な考えはあるか
公共施設白書作成業務と、基本方
針の見解は。

山下総務部長 公共施設維持は老
朽化により財政を圧迫する。市民・
専門家も参画し、将来像やまちづく
りなどを議論する中で検討していく。

公共施設白書をもとに将来計画基
本方針の策定を検討していきたい。

公民館の有効的活用はコミュニテ
ィの醸成や、事業推進の意味か
ら重要で、さらに検討する。

住民自治の原点に立ち返り、市民
自治の力を育てる。施設の管理運営
の基本方針も検討していきたい。

の

問 バイオマス施策の
考え方は

志村議員 バイオマス構想の評価は、
循環型社会構築に向け、施策推進
する考えは。

市民の堆肥化への取り組みに対す
る見解は。
事業用地選定や、地元理解を得た
経緯の見解は。

木質バイオマスである薪やペレッ
トの活用は。

答 内容精査し検討したい

倉嶋市長 理念・方向は評価する
が、バイオマスセンター建設が現実
的になる中、もう一度内容を精査し、
再度吟味する必要がある。

行政はサポートする方式も参考に
検討したい。

環境に配慮した施策推進として非
常に重要。

農作業に影響のないよう早めに結
論を出したい。
関係機関と協議し検討していく。

問 レアメタル回収・リサイクルは

答 推進は必要と認識している



川村恵子議員
(公明党)

川村恵子議員 小型家電リサイクル法の目的である資源確保や、有害物質管理・減量化を伺う。
小型家電リサイクル法を、市はどのように考えているか。
携帯電話やゲーム機、デジタルカメラなどの小型家電は、どのように回収・廃棄されているのか。
河野市民環境部長 ごみの減量や最終処分場の延命にも寄与、推進は必要と認識している。
使用済み小型家電の回収は、粗大ごみ回収時の1品目として、地区ごとに分別した回収を行っている。パソコンや携帯電話はメーカーによる店頭回収等が行われており、甲府市環境センターや民間中間処理業者等が処理している。

問 障がい者の自立・就労支援は

川村議員 自立に向けた働く場拡大の考えは。
法定雇用率が2・3%になるが、市の雇用率は。
障害者優先調達推進法の考えと今後の計画は。
通所障がい者施設に発注する物品やサービスは。

答 情報提供と発注促進を図る

荻原保健福祉部長 地域や企業の理解、情報提供が不可欠。就労の場確保が地域社会のキーワードになるよう努める。
一般職・教育職を合算すると2・1%で、4月に1人が採用され、2・3%の見込みとなる。
障害者就労施設や在宅就労の障害者の自立を進め、積極的に障害者就労施設等からの購入を推進するため制定された。関係各課等と協議・情報提供し発注促進を図る。

笛吹
南ア
北杜

3市合同研修会

1月15日

地方議会の制度と運営を学ぶ

住民を代表する地方議会、その期待に応え市民行政に貢献するため、議会の活性化について笛吹市、南アルプス市、北杜市の3市合同議員研修会が、地方議会研究会代表の野村稔先生を招き、県自治会館で開催されました。

おもなポイント

議員は執行機関を監視し政策を提言し団体意思を決定すること。

臨時会の召集は議長（議員）からの召集もできること。

長の選挙の後遺症を議会に持ち込まないこと。

議会運営は予算常任委員会を設置し、審議を図るとよいこと。

議員は住民の負託に現状を調査し提言すること。

検討・善処はいつまでか明確にすること。

議場は議長、事務局長の主権であり、議員着席の後、執行部局が入場すること。

など、改めて議会議員の重責を知ることができました。



3市合同研修会

3 常任委員会

合同行政視察研修

平成25年2月4～5日

神奈川県秦野市

委員会合同研修の1日目は、神奈川県秦野市の公共施設再配置の取り組みについて研修しました。



秦野市公共施設研修

する複数の類似施設を、機能の維持を基本として、市民の理解を得ながら統合・再配置するために計画を作成し、市を挙げて取り組んでいます。

今後、人口減少・超高齢化時代へと進む中で、全国の自治体が保有する公共施設やインフラの維持・更新は社会問題となっていくことも想定され、合併した笛吹市にとっても大きな課題となることから、市議会としても市民の皆さまと、将来の公共施設のあり方を十分に議論していく必要性を認識させられました。

静岡県伊豆の国市

「福祉の心」を学ぶ

議員研修の2日目は、伊豆の国市の田方福祉村を訪ねました。サッカーグラウ



伊豆の国市福祉施設視察

ンド5面分の広さに7つの障害者・高齢者福祉施設が3つの民間法人により運営されています。

高齢者介護の特別養護老人ホーム70床、介護老人保健施設・ケアホーム150床などのほかに、精神障害者のための通所型施設や就労支援施設、重度障害者の日常生活訓練、知的障害者小規模作業所、通所授産施設など、まさに高齢者や障害者に大切な「生きがい」や「やすらぎ」を与えてくれる施設になっています。

また、介護に疲れたらいつでも福祉のことで困ったときは、気軽に相談できる場所にもなっています。これほどの施設が1カ所に集まっていることは、入所者の不安も解消でき、職員間との連携も図られ、相手の立場に立った「福祉の心」を学んだ気がします。

静岡県富士市

富士市議会改革に学ぶ

「議会基本条例」の制定

2月5日午後1時半、最後の研修先である、静岡県富士市議会を訪れました。

ここでの研修目的は、ここ1年を取り組んでいる「議会基本条例」の制定を中心とする、議会改革を富士市の前例に学ぶというものです。副議長の川窪吉男氏の歓迎のあいさつのあと、事務局次長の渡辺悟氏の説明を受けました。

説明は「議会基本条例」の制定までの経過から始まり、その特記すべき事項、さらに、条項で謳われている決算審

査や議会報告会についてという形で進みました。説明で、また、質疑でいろいろ貴重な示唆を得ることができました。例えば「議会基本条例を制定することによって、議員の議会改革への主体性ができた」という実際の経緯などは、笛吹市議会での「条例制定が先か、個々の議会改革が先か」という、当初からの争点に、一つの解決策を与えているように思われます。各議員にとって、学ぶことの多い研修でした。



富士市議会改革

教育厚生常任委員会

現地視察

1月30日・2月8日

関係所管の現場研修として、1月30日に学校訪問を、2月8日に福祉保健部関係の施設などを訪問しました。いずれも現場の状況を実際に見て、より理解を深め、そこで抱えている課題や悩みを共有することによって、今後の議会活動に反映しようとするものでした。

学校関係では、大規模校としてのすばらしさを感じると同時に、悲しい出来事も頻繁にあり、管理職のストレスは計りしれないものもあると感じました。また、生徒の心を読みきれない発達障害への悩み、肢体、知的、自閉症情緒児童の個別指導などは、主治医と連携して創意工夫し、児童生徒1人1人の可能性を引き出すようしていました。

福祉保健部関係の訪問先では、笛吹市地域密着型施設として特養老人施設、認知症対応のグループホーム、社協デイサービス、保育所、ふれあいの家、八代児童センターを視察しました。

1人1人の希望を取り入れ、孤独



学校施設視察研修

にならないよう仲間のみんなと集団で明るく過ごせる施設があることは、当事者や家族にとってもありがたいことだと思いました。

難しい事柄が多い当委員会の現状を理解していくのは簡単ではありませんが、今後も定期的に現場研修を続けていきたいと思えます。

委員会研修報告

1月8日・2月13日

入札・契約制度で市民サービスを充実

総務常任委員会では、所管事項の理解を深め、委員会審査の参考にするために、定例会の閉会中も研修や調査に取り組んでいます。

1月8日には、笛吹市の入札・契約制度について研修しました。現在、全国的な流れとなつてい

ている一般競争入札制度の経過や、公共調達のあり方について確認し、市発注事業の実績も参照して、課題やポイントを整理することができました。公正な競争により低価格で、高品質な公共事業の実現を図るために、限りある税金を大切に有効に使わせていただくという視点で、入札制度の改善と向上に留意していかなければならぬと感じました。2月13日には、笛吹市の入札参加資格を有する事業者の代表的な方々から、市の入札・契約制度について意見を伺いました。

市の制度を担当する管財課

は総務委員会の所管ですが、実際に事業を発注する担当部署によって、業務や工事の内容はさまざまで、請負う事業者の仕事内容や立場も異なることから、各種業務や工事を受注する側からの意見や提案も参考にしながら、委員会審査の場で生かしていきたいと思えます。

また同日、市職員の人事・給与、人事評価制度についての研修も行いました。

地方公務員制度改革の流れや市の人事行政・定員管理の現状のほか、将来を見据えながら人事と業務の管理を検討する必要があるので説明を受けました。

今後は、業績評価や人事評価をより機能的に運用することで、市民サービスの充実と市職員の能力開発や意欲向上に生かしていきたいと考えています。

市議会議長会

議員合同研修会（後期）

2月13日

山梨県市議会議長会議員合同研修会（後期）が、山梨県市議会議長会主催により、県内全議員を対象に、236人が参加して開催された。

今回は、地方公務員共済組合協議会会長（元自治事務次官）である、松本英昭先生を講師にお招きし、「地方自治は創造とチャレンジの時代」と題して講演があった。

この中では、自治体を取り巻く社会情勢は、非常に厳しいものがあり、特に、地方自治における議員の活動が重要視され、「創造こそが発展の原動力」であり、創造のプロセスや能力、自前の政策・施策を樹立し自前の戦略を立て、適切に管理執行することが、今後「鍵」を握るとのことであった。

また、課題の認識や設定、事実の把握と精査、着眼力、

想像力が、必要不可欠であると話しがあった。
今回、議員としての責任の重さを改めて痛感し、今後の議会活動につなげていきたいと考えている。



責任の重さを痛感した研修会

リニア中央新幹線実験線説明会



リニアで地域の潜在力を引き出そう

2027年（品川～名古屋）開業、2045年全線（品川～大阪）、実験線（笛吹～都留）、42・8km）今秋、走行開始予定を受け、県は「リニア活用基本構想」を策定中です。

それを受け市議会も、山梨県リニア交通局およびJR東海に対し詳細説明を求め、去る、2月17日および3月7日、さまざまな角度・視点での検討を行いました。経済波及効果、地域住民生活への安全性、マクロ的将来像等しつかりしたデータ分析と、地域住民への説明責任は必須であるとともに、「リニア開業をきっかけに、こういう産業を興していこう」というワクワク・ドキドキ感を、市民の一人でも多くの皆さまと共有し、メッセージを発することが重要ではないでしょうか。

今後実験線の起点として、ビュー・ポイント整備、地域活性化策の実現を目指す一方、さまざまな情報収集、分析を行い、皆さまにも発信・説明していく予定です。

総務 常任委員会

教育 厚生 常任委員会

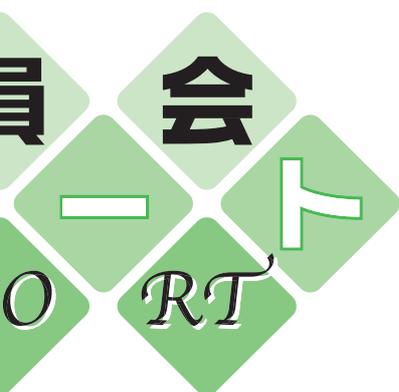
3月4日、5日、11日、12日、15日の5日間、委員会を開催。付託された法律の施行に伴う条例の整理1件、給与条例の一部改正1件、手数料条例の一部改正1件、一般会計補正予算1件の計5件を審査し、賛成全員でいずれも原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

総務部所管
Q 職員給与と条例一部改正で該当する職員数、等級は
A 該当者30人で、5級21人、6級6人、4級3人。
Q 無線機購入8力所14台の内容は。
A 災害時孤立想定地区12力所のうち、芦川4区の衛星携帯電話4台の買い替え、御坂藤野木など5地区と境川3地区の支所には、デジタル簡易無線機10台を購入。

Q 平成25年度市民税・固定資産税予算額減の原因は。
A 市民税は現年分・滞納繰越分とも昨年並み。償却資産の目減りによる固定資産税収の落ち込みの結果。
経営政策部所管
Q 補正予算での減額、不用額、事業繰り越し、継続費や債務負担行為の設定に関する考え方は。
A 当初予算に全額盛り込むことが基本。3月補正で不用額が多額に発生する場合は減額するよう指示。財源確保も含め事業の全体額を示すことが重要。

Q 国の補正予算による市への影響は。
A 有利な補正予算債が活用でき、市財政にメリットがある。
Q 当初予算の説明は、全体的な特徴や方針、考え方の説明を。また事業スケジュールや財源内容、目標設定など示した資料と、概要説明も併せ提出してほしい。
A 資料の出し方も含め、前向きに検討する。
市民環境部所管
Q 住民基本台帳カード発行手数料の無料化はいつまでか。
A 1年延長、32・3%の交付率、40%が目標。
Q 交通安全協会支部補助金は、安協組織一本での交付も検討しては。
A 合併後一度検討したが、支部活動があり本会という実態もあるので、安協役員とも検討したい。

消防本部所管
Q 新年度の職員数、充足率は。
A 83人の現員に対し、3月末で4人退職、4月から6人採用で85人の予定。きつい状態で東山梨・富士河口湖の両消防本部と応援協定を結んでいる。
Q 休日夜間急患診療体制はどうなっているのか。救急搬送のたらい回しの実態はどうか。
A 3病院が輪番制で対応。東山梨地区の山梨市・甲州市は5病院で輪番制。峡東3市は峡東医療圏との連携があり対応できている。
市民環境部所管
Q 甲府・峡東地域ゴミ処理施設事務組合負担増が多いのは何か。財源は。
A 用地補償費や設計費、道路工事に一部着工するため、関係市の負担割合により負担増になった。本市の負担割合は21・13%。財源は合併特例債を利用し、事業負担の95%に起債が使え70%は交付税で戻ってくる仕組み。
Q 境川ゴミ処理施設は29年度から供用開始される。運搬は毎日市内往來だが、2トン車では台数が増え公害や混雑が心配だ。大型車での輸送は考えないのか。
A 収集運搬車は徐々に電気自動車に切り替え、運搬ルートは幹線道路を使用し、市民への迷惑を極力減らす





▶ よう工夫する。幾つかのルートを使い平均化するよう組合側と協議していく。

教育委員会所管

Q 公の施設の指定管理者指定にメリットはあるのか
市民からの苦情に対し指導・監督を徹底できるのか。

A 維持管理費用の縮減と民間のノウハウを活用し、質の高いサービス提供を目的に、積極的に導入。維持管理は努力を怠ることのないよう指導監督し、市民に信頼されるよう進めていく。

Q 甲斐国分寺跡整備事業の補助金不正受給事件の一番の原因は。
A 土地家屋契約書、土地登記も完了し、書類だけに目が配られ、その他の写真等重要な証拠書類作成など

チエックに重大な見落としがあった。他部局とも連携しチエック体制を構築して再発防止を図る。

Q 国民文化祭事業への取り組みの意気込みは。

A 日本最大級の文化の祭典で、年間を通し開催されている。臨時職員を1人増員し対応していく。市内での開催は8月の石和鶴飼いを始め、10月の甲斐国分寺など文化財巡り、釈迦堂遺跡博物館での縄文展、現代詩の祭典、11月の俳句大会など5種目。幅広く啓発活動を行っていく。



3月4日、5日、11日、12日、15日の5日間、委員会を開催。付託された条例の制定6件、条例の一部改正4件、24年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算4件、水道事業会計補正予算1件、温泉給湯事業

会計補正予算1件、市道廃止・認定2件、25年度一般会計予算1件、特別会計予算12件

水道事業会計予算1件、温泉給湯事業会計予算1件の計34件を審査し、賛成全員32件、賛成多数2件で、原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

建設部所管

Q 公営住宅維持管理費の工事請負費の内容は。

A 定住促進住宅は加入率70%、要因の一つが浴室でユニットバス改修工事を行い入居促進を図る。上平井第1団地ほか3団地は、長寿命化計画に基づき屋上改修し、それ以外の住宅は修繕費で対応していく。

Q 地区要望は反映されているのか。

A 各地区から年間約300件あり、50%弱を緊急に対応。昨年実施した合同点検のうち、通学路の歩道整備は国庫補助事業のため、地権者の同意が得られた所から順次行っている。

産業観光部所管

Q 芦川ブランド化推進事

業負担金補助及び交付金の減額内容は。

A 土作り対策事業の内、ホウレン草の連作障害対策補助金申請者が予定より少なかったため。

Q 上芦川地域原風景復活保存事業の藤原邸施設の管理体制は。

A 5人で週2日間の管理。26年度指定管理に向け、25年度は年間を通しての管理を考えている。

Q 藤原邸以外の茅葺古民家改修も考えているのか。

A 計画はないが、関係機関と協議し、芦川全地域を考えていきたい。

Q 田園マスタープラン作成業務委託の内容は。

A 県営土地改良事業に必要で、県の指導で市のプランを作成するもの。

Q 観光関係団体・イベント補助金減額の影響は。

A 各団体とヒアリングし、無駄を省くための減額で影響はない。

公営企業部所管

Q 施設維持管理費の事業中止による減額で、工事費に対する設計委託料の割合

が高いのは。

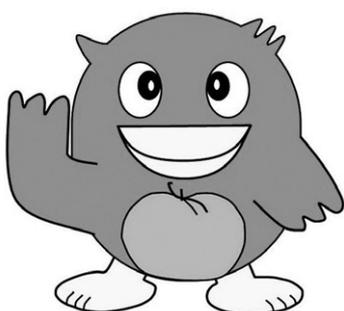
A 事業予定箇所が自然流下方式でなく、特殊な真空ポンプ方式を採用していることから多額になっている。

Q 簡易水道事業は芦川町だけだが、全戸加入か。

A 現在328件の給水件数で、ほぼ全戸。1mあたり給水原価316円に対し、使用料が47円と非常に安価。

Q 下水道使用料5億3、000万円の計上だが、何%の水洗化率見込みか。

A 85・3%。90%の場合



笛吹市イメージキャラクター
フッキー



同窓会に寄せて



八代町（会社員）
武川 恵里子

木かげ静かな八中に、繁るは青き梅の木々、高くそびえる我が校舎・・・。生バンドの演奏するメロディーに合わせ、出演者全員の合唱で、私たちの還暦祝いを兼ねた八代中学校同窓会が始まりました。

昔の面影そのままの人、名前を聞いてもどうしても昔のイメージと結びつかない人。卒業して45年が経ち、みな、それぞれの時間を、それぞれの場所で過ごしてきたのだと改めて感じます。

そして、今日この時、この場所に集まった事は、本当に貴重なことだと思っております。

仕事や結婚等で地元を離れ、新しい地に生活の拠点を構える大変さは、新しい地元で過ごすのに残った地域の棚のみのみならず、また、大変です。

リニアの橋脚が山裾を貫き、桃畑が道路や住宅に変わって行くのも、時代の流れで仕方ないことですね。45年の間に、八代中学校は統廃合により浅川中学校に名前を変え、梅の木々に囲まれていた校舎も取り壊され、庁舎はなくなつてしまいました。感じられる風景は全く変わりました。

しかし、この日集まった55人は、二次会が終わるころには皆、あつたころの顔になり、あのころの心に戻つて、また逢う日の約束をして笑顔で別れていきました。皆さん健康でいてください。

市民の皆さんへお礼を込めて



春日居町（主婦）
奥田 香世

震災により、宮城県石巻市から夫と共に何ら所縁のない笛吹市に移住しました。当地に来て感じました事は、心熱くのご支援でした。また、被災に際し、皆様から貴重な義援金、精神的、物資、労力等の厚いご支援を頂戴し、被災者の一員として幾重にも御礼申し上げます。

現在は、温かく見守つて下さっている方々に支えられ幾分落ち着いた生活になりました。石巻からは今もなお市報が届いており、その市報に笛吹市の事を投稿致しました。そして、本市の市報も送付し、笛吹市では、いかに細やかな市政が行われているか、その上、読みやすく、理解しやすい優れた市報を、ぜひ参考にしたい欲しいと思つたからです。

石巻にも夏に「川開き花火大会」があります。笛吹の方が、はるかに運営進行状態が良く人材の厚さを感じました。その上、楽しめる行事も数々あり、市民が何らかに関わり市民総参加の感があります。

石巻の「桃生」という地区に「はねつこ踊り」という伝統芸能があり、農耕主題の踊りで海外にまで招かれております。願わくば「桃」の絆で、笛吹の祭りに招致して戴き、宮城のはねつこを観て欲しいと願つております。

笛吹市の文化・史跡遺産を大切に、何よりも郷土を愛し、「より良く」という意識の高揚に感銘いたしております。



今年の冬は寒かったですね。そのおかげで、春になると梅・桜・すもも・桃の花が一斉に咲き始めました。皆さん、すももの交配樹で、「ハリウッド」という品種を知っていますか。薄いピンクの花が非常にきれいです。葉と実は濃い紅色をしています。畑の中にぽつんぽつんと植えてあり、遠くで見ると桜と間違えるほどです。

そんな春彼岸のころ、境川町藤壘の滝公園の中では、水芭蕉の花が咲き始めます。この水芭蕉は新潟の旧中条町、現在の胎内市から苗をいただき、地元の人たちが大切に育ててきました。白くて清楚な花が清流の中で、あちこちに見え始めました。

約1カ月、4月中下旬まで咲き続けます。たくさんの人たちが市内外から、カメラを片手にこの地を訪れます。桃の花と一緒に、水芭蕉の花も楽しんで下さい。5月から6月には、芦川町のスズランもいんですよ。（岩沢 正敏）



© TOYO INTERFACE

6月定例議会は14日から28日までの予定です。ぜひ傍聴にお出かけください。